

東日本大震災現地 NPO 応援基金について

認定特定非営利活動法人 日本 NPO センター

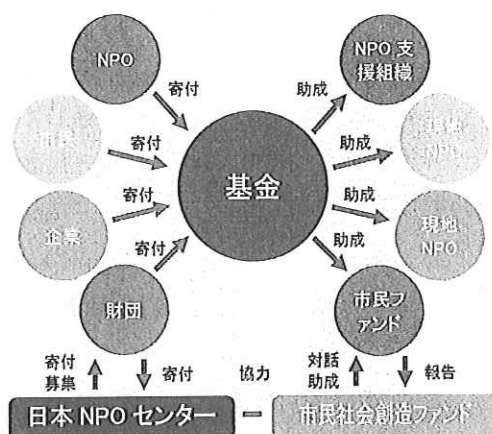
(資料作成：特定非営利活動法人市民社会創造ファンド 坂本憲治氏)

1. 経緯

- ・ 2011 年 3 月 11 日に東日本大震災発生。
- ・ 3 月 18 日に日本 NPO センターは市民社会創造ファンドと協力して基金を設置（公表、寄付募集開始）。
- ・ 3 月の寄付件数：226 件、寄付総額：3,192 万円（3 月をピークに寄付件数は減少）。
- ・ 4 月 2 日～3 日に宮城・岩手に入り、現地調査を開始（以後、毎月 1～2 回被災地を調査）。
- ・ 4 月の助成対象：4 件、助成総額：750 万円が決定（以後、9 月を除き毎月助成を決定）。
- ・ 10 月末にて救援期（第 1 期）を終了。11 月より生活再建期（第 2 期）を開始。

2. 基金について

- ・ 救援や生活再建のための活動を行う「現地 NPO 等」を資金的に応援。
- ・ 4 月～9 月を救援期（第 1 期）、10 月以降を生活再建期（第 2 期）とし、概ね 1 年間・1 億円を目標。
- ・ 「臨機に、迅速に、柔軟に」おこなう。
- ・ 原資は市民・企業・財団等からの寄付とする。
- ・ 日本 NPO センターが寄付の受け入れと管理業務、市民社会創造ファンドが助成業務を担当する。



3. 寄付について

(1) 募集概要

- ・ 3 月 18 日に寄付募集の開始および口座開設。HP、ML 等で各方面に協力を呼び掛け。
- ・ 寄付金総額の 85%を助成金の原資に、寄付金総額の 15%を基金の管理運営のための経費とする。

(2) 募集実績

- ・ 10 月末現在の寄付件数は 678 件、寄付総額は 1 億 3,906 万 4,567 円。
- ・ 寄付者の属性は「個人」「グループ・有志等」「NPO」「企業」「海外（団体）」「海外（個人）」など。
- ・ 件数別では「個人」が 585 件で全体の 86.3%を占める。
- ・ 合計金額別では「企業」が 5,424 万 8,901 円で全体の 39.0%を占め、「グループ・有志等」が 2,844 万 9,370 円で 20.5%、「海外（団体）」が 2,756 万 663 円で 19.8%を占める。
- ・ 「小口寄付（1 円以上 5 万円未満）」は 567 件で全体の 83.6%を占める。「大口寄付（100 万円以上）」は 14 件で全体の 2.1%に過ぎないが、合計金額は 1 億 2,037 万 9,197 円で全体の 86.6%を占める。
- ・ 月別の寄付件数・寄付金額は 3 月と 4 月で計 419 件（全体の 61.8%）・6,890 万 2,496 円（同 49.6%）で、5 月以降の寄付件数は大幅に減少するものの継続して寄付の申し出あり。

○寄付者の属性

	件数	割合	合計金額	割合
個人	585 件	86.3%	15,556,295 円	11.2%
グループ・有志等	23 件	3.4%	28,449,370 円	20.5%
NPO	32 件	4.7%	12,814,746 円	9.2%
企業	19 件	2.8%	54,248,901 円	39.0%
海外(団体)	5 件	0.7%	27,560,663 円	19.8%
海外(個人)	6 件	0.9%	137,592 円	0.1%
不明	8 件	1.2%	297,000 円	0.2%

○寄付金額層別の件数・合計金額

	件数	割合	合計金額	割合
小口寄付	567 件	83.6%	5,900,984 円	4.2%
中口寄付	97 件	14.3%	12,784,386 円	9.2%
大口寄付	14 件	2.1%	120,379,197 円	86.6%

※小口寄付:寄付金額 1 円以上 5 万円未満
 ※中口寄付:寄付金額 5 万円以上 100 万円未満
 ※大口寄付:寄付金額 100 万円以上

4. 助成について

(1) 助成概要

- ・助成対象は①現地 NPO による救援活動、②中間支援組織や市民ファンドによる現地 NPO の後方支援活動、③救援活動に取り組む NPO の組織基盤の再生・強化とする。
- ・助成期間は半年以内。1 件あたりの助成金額は概ね 100 万円以内を想定。使途は特に定めない。

(2) 応募・選考概要

- ・①市民社会創造ファンドのスタッフが現地入りし、調査を実施。②助成が必要と思われる現地の NPO に呼び掛けを行い、対話を通じて、③現地 NPO からプロポーザルを受け取り、④審査を実施。
- ・審査体制は日本 NPO センター代表理事と事務局長、市民社会創造ファンド事務局長の 3 名とする。

(3) 助成実績

- ・10 月末現在の助成件数は 25 件、助成総額は 4,243 万円。
- ・「岩手」が 4 件、「宮城」が 17 件、「福島」が 4 件。
- ・「現地 NPO」が 18 件、「現地ネットワーク組織」が 3 件、「現地 NPO 支援組織」が 4 件。
- ・「任意団体」が 11 件、「NPO 法人」が 14 件。※助成決定時。10 月末現在では 2 団体が NPO 法人格取得。
- ・「震災前に設立」が 15 件、「震災後に設立」が 10 件。
- ・「こども支援」が 3 件、「障がい者支援」が 5 件、「高齢者支援」が 5 件、「女性支援」が 1 件、「遺児・遺族支援」が 1 件、「救援・復興支援」が 6 件、「NPO 支援」が 3 件、「市民ファンド」が 1 件。
- ・「人件費への助成」が 16 件、「管理運営費への助成」が 5 件、「施設の修繕費・設備費への助成」が 4 件、「事業費への助成」が 10 件、「市民ファンドへの助成」が 1 件。※重複あり。

○所在地別

	件数	割合
岩手県	4 件	16%
宮城県	17 件	68%
福島県	4 件	16%

○組織形態別

	件数	割合
現地 NPO	18 件	72%
ネットワーク組織	3 件	12%
NPO 支援組織	4 件	16%

○活動テーマ別

	件数	割合
こども支援	3 件	12%
障がい者支援	5 件	20%
高齢者支援	5 件	20%
女性支援	1 件	4%
遺児・遺族支援	1 件	4%
救援・復興支援	6 件	24%
NPO 支援	3 件	12%
市民ファンド	1 件	4%

○法人種別

	件数	割合
任意団体	11 件	44%
NPO 法人	14 件	56%

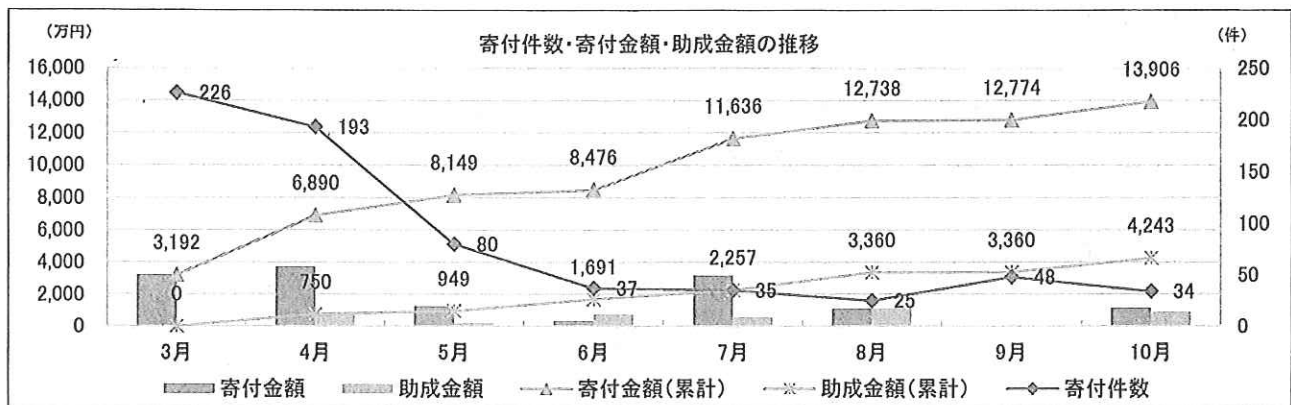
○設立時期

	件数	割合
震災前	15 件	60%
震災後	10 件	40%

○寄付件数・寄付総額・助成件数・助成総額の月別推移

(単位:件・円)

	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
寄 付	寄付件数	226	193	80	37	35	25	48
	寄付件数(累計)	226	419	499	536	571	596	644
	寄付金額	31,923,607	36,978,889	12,586,695	3,266,305	31,608,372	11,017,546	358,280
	寄付金額(累計)	31,923,607	68,902,496	81,489,191	84,755,496	116,363,868	127,381,414	127,739,694
助 成	助成件数	0	4	2	4	5	6	0
	助成件数(累計)	0	4	6	10	15	21	21
	助成金額	0	7,500,000	1,990,000	7,420,000	5,680,000	11,030,000	0
	助成金額(累計)	0	7,500,000	9,490,000	16,910,000	22,570,000	33,600,000	33,600,000



5. 基金の成果と今後について

(1) 基金の成果

① 寄付について

- ・震災7日後（3月18日）に現地NPOを支援する仕組みとして基金を立ち上げ、寄付募集を開始した。寄付目標は1年・1億円であったが、震災4か月後（7月）に寄付総額は1億円を超え、所期の目標を達成することができた。10月末現在、「個人」「グループ・有志」「NPO」「企業」「海外（個人・団体）」より、678件・1億3,906万4,567円の寄付を頂戴した。
- ・3月と4月の寄付合計は419件（全体の61.8%）・6,890万2,496円（同49.6%）であり、いち早く、現地を応援したい市民・NPO・企業・海外の思いの受け皿となることができた。なお、5月以降の寄付件数は3月・4月に比べ大きく減少したが、継続して寄付の申し出があり、その金額は寄付総額のほぼ半分（同50.4%）を占めた。何度も継続して寄付してくださる「個人」もあり、個人からの寄付合計は585件（同86.3%）・1,555万6,295円（同11.2%）であった。また、この中には個人から大口寄付（100万円以上）の申し出もあった。
- ・「グループ・有志」「NPO」「海外」からの寄付は、それぞれの地域や職域での募金活動（チャリティ）を通じて、現地NPOを応援したい市民・会員・社員の思いの受け皿となり、その思いを本基金に託されたものが多かった。これらからの寄付合計は66件（全体の9.7%）・6,896万2,371円（同49.6%）であった。この中には、海外在住の日本人や日系人、外国籍の市民、海外の企業家からの寄付を海外の団体・グループが取りまとめ、本基金に寄付の申し出をいただいたものもあった。
- ・「企業」からの寄付は、顧客・取引先・社員・株主の思いを代表して、その多くは「義捐金」に資金を拠出したと思われるが、本震災の特徴として明らかとなった、被災者支援を行うNPOへの「支援金」の受け皿の一つとして、本基金に現地NPOを応援したいという思いを託された。企業からの寄付合計は19件（全体の2.9%）・5,424万8,901円（同39.0%）であった。この中には、企業からの寄付の呼び水にと基金設置の直後に寄付の申し出をいただいた企業もあった。
- ・4月には現地NPOへの助成（4件・750万円）が決定した。助成内容（団体名・プロジェクト名・プロジェクト概要）を日本NPOセンターのWEBサイトで公表した。また、日本NPOセンター代表理事による毎月の寄付・助成報告を同WEBサイトに公表し、寄付者へのアカウンタビリティに努めた。なお、10月より日本NPOセンターのスタッフが助成を受けた現地NPOに取材し、同WEBサイトでのインタビューレポートの掲載を開始した。

②助成について

- ・今回、現地 NPO の企画提案プロジェクトの募集は一般的な公募方式ではなく、市民社会創造ファンドのスタッフが現地調査を実施し、助成が必要と思われる現地 NPO に呼び掛けを行い、対話を通じて、現地 NPO からプロジェクトの企画提案を受ける方式とした (Request for Proposal)。

5. 基金の成果と今後について

(1) 基金の成果

- ・「臨機」 → ・10 月までを現地 NPO による救援活動への支援 (第 1 期)、11 月からは現地 NPO による生活再建支援活動への支援 (第 2 期) とし、助成の仕組みや内容を見直した。
- ・「迅速」 → ・震災 7 日後に現地の NPO を支援する仕組みとして基金を立ち上げたことにより、現地を応援したい市民・NPO・企業の思いの受け皿となり、その思いを現地につないだ。
 - ・現地調査、非公募対話型 (Request for proposal)、最小限の審査体制を採用したことにより、迅速に資金を提供した (ほぼ 1 か月以内)。
- ・「柔軟」 → ・現地の NPO との対話を通じて、各 NPO の状況 (意志、活動内容、運営状況、外部環境など) に応じて、人件費、管理運営費、修繕費、事業経費など必要な資金を支援。
- ・「寄付」 → ・10 月末現在、個人、グループ・有志、NPO、企業、海外より、678 件・1 億 3,906 万 4,567 円のご寄付を頂戴した。3 月と 4 月の合計は 419 件 (61.8%)・6,890 万 2,496 円 (49.6%) であり、震災 7 日後に現地 NPO を支援する仕組みとして基金を立ち上げたことにより、いち早く、現地を応援したい市民・NPO・企業・海外の思いの受け皿となることができた。
- ・現地の NPO への支援を対象としたことにより、被災により活動が停止または停滞していた現地 NPO、震災後に立ち上がった現地 NPO、いち早く救援活動に取り組んでいた現地 NPO、これら現地 NPO の後方支援に取り組む中間支援組織やネットワーク組織の組織基盤や活動基盤を支援。
- ・助成を受けたことにより、現地 NPO による新たな人や団体を巻き込む仕組みがつくられた。
- ・助成先のインタビューを実施し、日本 NPO センターの WEB サイトで公開するなど、寄付者に対して現地の生の声を伝えることができた。

(2) 今後の展開について

- ・順次、第 1 期の助成対象にインタビューを実施し、寄付者に現地の声や状況を伝える。
- ・11 月からは生活再建期 (第 2 期) として、「被災者の生活再建を支援する現地 NPO の組織基盤強化」をテーマに助成を開始。概ね 1 年間 (募集: 4 回、助成総額: 1 億円) を目標に実施。
- ・助成対象は①岩手県、宮城県、福島県において直接被災者の生活再建を支援する「現地 NPO」、②①の活動を行う団体の「現地ネットワーク組織」または「現地中間支援組織」とする。
- ・助成期間は 1 年間以内。1 件あたりの助成金額は 500 万円以内。使途は人件費を含めた組織基盤強化に必要な費用 (人件費は 1 人 25 万円/月を上限)。
- ・団体より応募内容を募集し、有識者で構成する選考委員会で選考。選考プロセスで現地インタビューを実施する場合もあり。

資料 1

東日本大震災現地NPO応援基金（第1期）助成対象一覧（2011.11.4現在）

	プロジェクト名	団体名	所在地	助成額	助成
1	ワンファミリー仙台 東日本大震災対策本部事務局整備	特定非営利活動法人 ワンファミリー仙台	宮城県 仙台市	110 万円	4月
2	被災NPOのための復興支援事業	特定非営利活動法人 杜の伝言板ゆるる	宮城県 仙台市	220 万円	4月
3	「遠野まごころネット」プロジェクトおよび被災者「御用聞き」救援物資輸送プロジェクト	遠野市被災地支援ボランティア ネットワーク遠野まごころネット	岩手県 遠野市	200 万円	4月
4	はばたけ！みやぎNPO復興活動応援基金（はばたけファンド）	特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター	宮城県 仙台市	220 万円	4月
5	被災した子どもと遊ぶプロジェクト	特定非営利活動法人 寺子屋方丈舎	福島県 会津若松市	100 万円	5月
6	にじいろクレヨン（避難所の子どものレクリエーション活動）	石巻こども避難所クラブ	宮城県 石巻市	99 万円	5月
7	岩手における被災地障がい者支援活動	被災地障がい者センターいわて	岩手県 盛岡市	198 万円	6月
8	宮城県南部障がい者支援活動	被災地障がい者センターみやぎ	宮城県 仙台市	196 万円	6月
9	ふくしまにおける被災地障がい者支援活動	JDF被災地障がい者支援センターふくしま	福島県 郡山市	198 万円	6月
10	子どもをとりまく豊かな環境づくり事業～遊びを通じた子どもの心のケアと地域の再生～	特定非営利活動法人 冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク	宮城県 仙台市	150 万円	6月
11	南三陸町など被災者の仕事づくりと連携した経済復興プロジェクト	海の手山の手ネットワーク	宮城県 大崎市	75 万円	7月
12	被災女性に寄り添った支援内容の情報発信	宮城登米「えがおねっと」	宮城県 登米市	31 万円	7月
13	遺族と遺児のこころの復興プロジェクト	仙台グリーンケア研究会	宮城県 仙台市	190 万円	7月
14	連携により岩手県の市民活動デカラを復興へ！	いわて連携復興センター	岩手県 北上市	174 万円	7月
15	被災NPOの復興寄付サイト運営と地域の復興活動の情報発信事業	特定非営利活動法人 杜の伝言板ゆるる	宮城県 仙台市	96 万円	7月
16	「グループホームぽらん」復旧プロジェクト	特定非営利活動法人 なごみ	宮城県 気仙沼市	200 万円	8月
17	ささえ愛山元の再建をめざして	特定非営利活動法人 住民互助福祉団体ささえ愛山元	宮城県 山元町	303 万円	8月
18	「老菜子の家」津波災害再生プロジェクト	特定非営利活動法人 創る村	宮城県 東松島市	200 万円	8月
19	仮設住宅住民の介護・生活支援「郷 GO!!喫茶」及び災害等に強いNPOづくり	特定非営利活動法人 さくらんぼくらぶ	宮城県 登米市	100 万円	8月
20	東日本大震災 被災介護事業所及び被災者支援活動	特定非営利活動法人 みやぎ宅老連絡会	宮城県 仙台市	158 万円	8月
21	ふくふくプロジェクト会議（ふくしま NPO・市民活動団体連携復興プロジェクト会議）の事務局強化支援	特定非営利活動法人 ふくしまNPO ネットワークセンター	福島県 福島市	142 万円	8月
22	沿岸部の障がい者のエンパワメントおよび新たな地域福祉サービスの創出に向けて	被災地障がい者センターいわて	岩手県 盛岡市	300 万円	10月
23	仮設住宅の高齢者・障害者・健常者が共に健康でノーマライゼーションな交流をしようプロジェクト	特定非営利活動法人 輝けなまちチャレンジ	宮城県 石巻市	199 万円	10月
24	多賀城市震災被災地区コミュニティ再生・強化事業	特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンター	宮城県 仙台市	193 万円	10月
25	市民による放射能測定と研究会開催	市民放射能測定所	福島県 福島市	191 万円	10月

助成件数: **25** 件 助成総額: **4,243** 万円

被災者の生活再建を支援する現地NPOの組織基盤の強化に助成します



東日本大震災
現地NPO応援基金

第2期助成

応募要項

認定特定非営利活動法人 日本NPOセンター

1. 助成の趣旨

2011年3月に日本NPOセンターに設置された「東日本大震災現地NPO応援基金」は、10月までを救援期（第1期）として、現地NPOの救援活動への助成に取り組んでまいりました。11月からは生活再建期（第2期）として、「被災者の生活再建を支援する現地NPOの組織基盤強化」をテーマに助成を開始します。なお、第2期は概ね1年間（募集：4回、助成総額：1億円）を目標に実施します。

「組織基盤強化」とは、「今後の活動を充実していくために組織の力をつけていくこと」を言い、NPOの人的基盤、財政的基盤、情報基盤など運営基盤の整備が主な課題となります。また、基礎的な支援ニーズ調査などの組織基盤強化につながるプロジェクトの実施も含みます。

本助成は、現地NPOが組織基盤を強化することで、被災者の生活再建を持続的できめ細やかな支援を行い、長期的に大きな役割を果たせるよう期待し、実施するものです。

2. 助成の対象となる団体

助成の対象となる団体は、以下の（1）または（2）とします。

- （1）岩手県、宮城県、福島県において直接被災者の生活再建を支援する「現地NPO」
- （2）上記（1）の活動を行う団体の「現地ネットワーク組織」または「現地中間支援組織」

「現地NPO」とは、岩手、宮城、福島の被災3県のいずれかで、直接被災者の生活再建の支援に取り組むNPOで、各地域の市民が自発的に活動する民間非営利団体を言い、草の根の小さな任意団体を含み、法人格の有無や種類は問いません。

また、「震災後に活動を開始した団体」「震災前から活動をしていたが震災を機に新たな活動を展開しようとする団体」「被災して活動を休止していたが新たに再興しようとしている団体」などを想定しています。

3. 助成の概要

- 〔助成期間〕 応募日に応じて、1月、4月、7月、10月初日から1年間以内
- 〔助成金額〕 1件当たり500万円以内（1回の選考での助成総額は概ね2,500万円）
- 〔助成金使途〕 人件費を含め組織基盤を強化するために必要な費用。
施設の建設・修繕費用および車両等の設備購入費用は含みません。
人件費は、1人25万円／月を上限とした12カ月以内の給与を対象とします。
上限を超える給与または賞与は各組織の自己負担でお願いします。
社会保険の団体負担分、通勤交通費等は対象になりません。

4. 応募・選考の方法

[応募方法] 応募用紙は日本NPOセンターのWEBサイト (www.jnpoc.ne.jp) からダウンロードし、必要事項を記入の上、下記「市民社会創造ファンド」宛てに郵送してください。

[応募期間] 2011年11月1日～2012年8月31日までの期間、随時、受け付けます。

[選考方法] 12月、3月、6月、9月に開催する選考委員会で、それぞれ前月末までの応募について選考します。

選考にあたり、事務局より団体への応募内容等に関する問い合わせや、追加資料の提出、現地でのインタビューをお願いすることがあります。また、応募内容について課題がある場合は、相談の上で内容を修正して再提出していただくことがありますので、ご了承ください。

5. 選考基準

- ・ 応募団体の活動は、被災者の生活再建を支援するものとして高く評価できるか。
- ・ 応募団体は、計画内容を実施するに相応な組織基盤または活動実績を有しているか。
- ・ 応募団体の計画内容は、組織基盤強化の背景・目的が明確でその実現方法が適切か。
- ・ 応募団体の計画内容は、実施体制、実施スケジュール、実施予算の計画が効果的か。
- ・ 応募団体が組織基盤強化に取り組むことで、被災者の生活再建を持続的できめ細やかな支援を行い、長期的な貢献が期待できるか。

6. 助成手続等

[決定通知] 助成の採否は、応募日から3カ月以内の12月、3月、6月、9月末までに電子メールと書面で連絡します。

[助成手続] 助成決定後、応募団体と日本NPOセンターは「覚書」を取り交わし、所定の手続きを経て助成を開始します。

[助成金支払] 助成期間の前期分は、助成手続完了後1カ月以内に振り込みます。後期分は、経過報告書の受理後に振り込みます。

[報告義務] 助成開始後7カ月以内に6カ月間の「経過報告書」を、助成完了後1カ月以内に「終了報告書」を提出いただきます。

7. 助成に関する問い合わせ・応募先

特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド(担当:坂本・武藤)

〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル267-B

TEL:03-3510-1221 Email:ksakamoto@civalfund.org

2011年11月1日

認定特定非営利活動法人 日本NPOセンター





タケダ・いのちとくらし再生プログラム
—被災地に NPO の知恵と力を—

《2012 年度 助成事業 募集要項》

認定特定非営利活動法人

日本NPOセンター



1. 助成の趣旨

日本 NPO センターは、この度の東日本大震災で被災された方々の「いのち」と「暮らし」の再生を願い、武田薬品工業株式会社からのご寄付をもとに、被災 3 県（岩手、宮城、福島県）を主な対象とした民間の支援活動に対して助成を開始します。この助成プログラムは、今後 5 年にわたって実施する予定です。

2. 募集内容

〔1〕応募資格

「いのち」と「暮らし」の再生に関わる社会的課題を発掘し、その課題を解決するために被災 3 県を主な対象として活動する非営利の組織とします。法人格の有無や種類は問いません。ただし、政治的・宗教的な組織は対象としません。

なお、医療関係者等の団体による応募につきましては、後述の選考委員会が応募団体を当該団体と判断した場合、寄付金拠出者（武田薬品工業株式会社）に利益をもたらす可能性を排除するために、選考委員会での当該団体を対象とした選定過程において、寄付金拠出者は一切関与しません。

さらに、選考委員会が当該団体を助成対象に選考した場合、医薬品業界内ルールおよび寄付金拠出者の制定する規定（透明性ガイドライン）などに照らし、当該団体は当該団体名の公開について寄付金拠出者と同意することをもって、決定とさせていただきます。同意いただけない場合は、選考結果を取り消させていただきますことをご留意ください。

〔2〕助成内容

（1）対象経費

応募活動に関わる必要経費

（支出項目は特に定めません。運営費や人件費も含むことができます）

（2）助成限度額

助成 1 件につき上限 1000 万円（総額 1 億円を予定）

（3）対象となる活動

「いのち」と「暮らし」の再生に関わる下記の活動を対象とします。

◇いのちの再生

人道支援の視点から、社会的に弱い立場にある被災者（子ども、高齢者、病人、障害者、災害遺児・遺族、経済的困窮者等）が尊厳をもって生きていけるよう、その人権を尊重し、日常生活を支援し、保健・医療・福祉の充実を図る活動。

◇くらしの再生

復興にむけた基盤整備支援の視点から、被災した人々が生きがいのある暮らしを回復できるよう、生活の場・仕事の場を再建し、生活基盤を整備する活動。なお、これらの活動に関わる調査研究や政策提言活動も対象とします。

(4) 助成期間

2012年4月1日から1年間

(毎年度の選考によって必要と認めた場合には最長3年間の継続助成の可能性があります)

〔3〕 選考

(1) 選考方法

「いのちとくらし再生委員会」内に設置する選考委員会にて、選考を行い決定します。選考過程で、必要に応じて関連資料を提出して頂いたり、応募団体にインタビュー等を行います。

(2) 選考基準

下記の点で高く評価されたものを選考します。

ア) 社会的意義：本プログラムで定める対象活動としての社会的意義が大きい。

イ) 現地性：現地のニーズをよく把握し、現地の関連組織ともよく連携がとれている。

ウ) 実現性：実施体制・スケジュール・予算等が適切で活動の実現性が高い。

エ) 実施能力：応募団体には、応募内容を実施するに十分な組織基盤や活動実績がある。

(3) 選考結果の通知

助成の採否は2012年1月末までに書面にて通知します。

〔4〕 助成金

(1) 支払い

助成決定後、覚書を交換し、所定の手続きを経て2012年3月までに助成金を支払います。

(2) 使途

助成金は、応募書類の資金使途計画に従って用いていただきます(計画変更が必要になった場合は変更願いを出して承認を求めています)。

〔5〕 助成期間中及び助成終了後の提出書類

所定の書式により、下記の報告書を提出いただきます。

(1) 助成後半年経過時点の経過報告書・収支報告書(2012年10月末日まで)

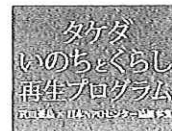
(2) 助成終了時点までの完了報告書・収支報告書(2013年4月末日まで)

(3) 助成事業の実施状況を示す写真・資料等(2013年4月末日まで)

※なお、助成期間中に現地インタビューに伺うことがあります。

〔6〕 個人情報

応募用紙に記載の個人情報は、本助成事業の目的以外には利用しません。



3. 応募手続

〔1〕 応募用紙の入手方法

当プログラムの Web サイト (<http://www.inochi-kurashi.jp/>) から応募用紙をダウンロードいただくか、送付先の住所・氏名を明記の上、〔4〕の事務局へ FAX にてご請求ください。

〔2〕 応募書類

(1) 応募用紙に応募活動の概要や実施予算の必要事項を記入してください。

(2) 添付書類

【1】 定款（法人の場合）または会則（任意団体の場合）

【2】 役員名簿

【3】 前年度の事業報告書及び決算報告書

【4】 当年度の事業計画書及び予算書

【5】 活動を紹介する資料（パンフレット、会報、新聞・雑誌の記事等）

〔3〕 応募期間

2011 年 12 月 1 日（木）～ 2011 年 12 月 10 日（土）当日消印有効

〔4〕 応募・お問い合わせ先（事務局）

ご応募は必ず消印の分かる方法で下記事務局に郵送ください。持参はお断りします。

認定特定非営利活動法人日本 NPO センター

タケダ・いのちとくらし再生プログラム事務局（担当：福田、坂口、三本）

100-0004 東京都千代田区大手町 2-2-1 新大手町ビル 245

TEL. 03-3510-0855 FAX. 03-3510-0856

Email info@inochi-kurashi.jp

Website <http://www.inochi-kurashi.jp/>